



皆様、あけましておめでとう  
ございます。

年頭にあたり、本年が町民皆様にとつて、健康で明るく、希望に満ちた年になりますようお願い申し上げます。

はじめに、私事ではありますが、一昨年12月から昨年5月まで病氣療養のため公務を離れ、町民皆様には大変なご心配とご迷惑をおかけしましたことを心よりおわび申し上げます。

さて、昨年は、羽田産業団地や西部工業団地の完成に伴い、新たな事

業者が立地するなど企業誘致が着実に進んだほか、復興公営住宅への入居開始、役場新庁舎の開庁、さらには本年3月31日の山木屋地区の避難指示解除が決定されるなど、町全体で復興の歩みを実感し、町の発展へ向けた大きな一歩を踏み出した年でありました。

また、保育園、幼稚園の保育料は「第二子半額、第三子無料」の多子軽減制度などを継続し、昨年4月からは、新たに学校給食費の半額負担や結婚祝金の支給、3年保育の開始など、子育て支援のための取り組みを拡充した年でありました。

学校や幼稚園から響く元気な子どもたちの声を聞くたび、町の未来を担う、元気いっぱい純粋な子どもたちのため、明るい将来を創っていかねければと思いを新たにしております。引き続き、「川俣町まち・ひと・しごと創生総合戦略」をしつか

りと展開しながら、本年も全身全霊で責務を全うし、「進化するかわまた」のまちづくりに取り組んでまいりますので、皆様の変わらぬご理解とご協力をお願い申し上げます。

なお、震災以降、町では町税などについて、被災の状況を鑑み、町民税の一割減免等の措置を行ってまいりましたが、現在、来年度以降の課税のあり方について再検討を進めておりますので、ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、皆様のご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げ、新年のごあいさついたします。

川俣町長 古川 道郎

あいさつ

あ

けましておめでとうござい  
ます。年の初めに、町民皆  
さんのご健勝とそれぞれの思いが成  
就されますようお願いするとともに、  
川俣町のさらなる進展をお祈り申し  
上げます。

昨年は記憶に残る事が多くありま  
した。4月の熊本、11月の福島沖の  
大地震。6月の干ばつ、9月の長雨、  
ふくしま駅伝町の部の7位入賞、ふ  
くしま産業賞最高位の県知事賞を鶴  
沢の企業が受賞しました。この受賞  
は絹の町川俣千年の歴史上に輝く栄  
冠であり、皆さんのご努力に感謝申  
し上げます。

また、年末には京都にある繊維企  
業が西部工業団地第1号誘致企業と



なり協定締結式が行われました。こ  
のことは町の進展に大きく寄与する  
ことでしょう。

さて、あの未曾有の原発事故から  
5年7か月に当たる昨年10月24日避  
難指示解除に関する合意式が行わ  
れ、今年3月31日をもって山木屋地  
区の避難解除が正式に決定いたしま  
した。議会として長い時間をかけて  
国、県へ要望活動を行い、困難な諸  
課題を協議し今日に至っています。  
帰還は新たな出発です。完全復興に  
向け、今後さらに議論し行動してま  
いります。

新しい年を迎え、新庁舎業務開始  
2か月目に入ります。職員の皆さん  
の落ち着いた姿、明るい声を聴くと  
き、きつと町民皆さんの期待に答え  
ることができると確信いたします。  
陽光が届く明るい庁舎へ気軽に足を  
運んでいただきたいと思います。

議会は定例議会、臨時議会におい  
て議案等を採決します。また、その  
都度町政では達成できない問題は  
国、県へ意見書の提出を行い、諸課

題は全員協議会で議論し町へ提案し  
てまいりました。

今年も心を新たに町民皆さんの福  
祉向上を基本とし、町民皆さんの付  
託に答えられるよう努めてまいりま  
す。

結びに、子どもたちの元気な声が  
聞こえる活気にみちた町づくりのた  
め一翼をなし、声なき声を大切に邁  
進して行くことを心願し挨拶としま  
す。

川俣町議会議長 斎藤 博美

2017 年 酉 年

新年のご

